

注 意 報

9 病 第 5 号
平成19年 3月 1日

各農業改良普及センター所長 様
各農業協同組合長(営農担当者) 様
各病虫害調査協力員 様
各関係機関長・団体長 様

京都府病虫害防除所長
(公 印 省 略)

病虫害発生予察情報について

下記のとおり発表しましたので送付します。

発生予察注意報第 1 号

作物名 **チャ**
病虫害名 **カンザワハダニ**

- 1 発生地域 **山城地域**
2 発生時期 **2月下旬～**
3 発生量 **平年比多い**

4 注意報発表の根拠

- (1) 2月第5半旬に行った調査では、寄生葉率は3.1%であり、平年比多い数値となっている(平年値1.0%)。産卵葉率についても平年比多い11.5%であり(平年値0.4%)、発生ほ場率も59.1%と平年比高かった(平年値30.5%)(表1)。
- (2) 100葉当たり成虫数は8.3頭であり平年比多く(平年値2.2頭)、産卵数は10.1個であり平年比やや多かった(平年値3.8個)。また、既に幼若虫の発生を認めており、100葉当たり幼若虫数は0.6頭で平年比やや多かった(平年値0.3頭)(表2)。
- (3) 向こう1か月の気温は高く、降水量は太平洋側で平年並または多いと予想されており、気温が高いとカンザワハダニの増加が懸念される。

表1 カンザワハダニ調査結果1(100葉調査) 調査日:平成19年2月21、22日

地域	寄生葉率(%)			産卵葉率(%)			発生ほ場率(%)		
	本年	平年値	前年値	本年	平年値	前年値	本年	平年値	前年値
山城	3.1	1.0	0.2	1.5	0.4	0.1	59.1	30.5	18.2

表2 カンザワハダニ調査結果2(100葉調査) 調査日:平成19年2月21、22日

地域	成虫数(頭)			産卵数(個)			幼若虫数(頭)		
	本年	平年値	前年値	本年	平年値	前年値	本年	平年値	前年値
山城	8.3	2.2	0.5	10.1	3.8	0.2	0.6	0.3	0.0

5 防除上の注意事項

- (1) 越冬雌成虫は休眠から醒めると体色が朱色から濃赤色に変わり、活動を始める。
- (2) 卵は日数が経つにつれ、透明から黄色となり、孵化が近づくと赤みを帯びる。
- (3) 越冬虫数が多いと、春期の発生も多くなる傾向がある。気温が上昇し、暖かい晴れた日が続くと、急速に産卵、増殖する。
- (4) 幼若虫がすでに認められるほ場があるので防除適期に留意する。
- (5) 防除は一番茶芽の萌芽前に行う。
- (6) 毎年多発する園や秋期に防除しなかった園では注意する。

6 農薬使用の注意事項

- (1) 農薬の使用に当たっては、農薬使用基準や注意事項を遵守する。
- (2) 農薬を散布する場合は、飛散(ドリフト)防止に十分気をつける。
- (3) 農薬は最新の登録情報(農薬検査所HP <http://www.acis.go.jp/searchF/vtllm000.html>)を確認し、適正に使用する。

茶萌芽前に使用出来る主な農薬

薬剤名	使用濃度・量	使用時期・回数
カーラフロアブル	2,000~3,000倍	摘採21日前まで/1回
バロックフロアブル	1,000~3,000倍	摘採14日前まで/1回